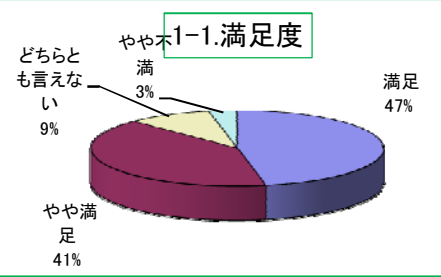


【第7回】
東芝研修センター

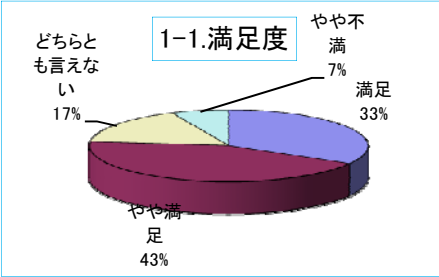
【第6回】
神奈川工科大学

【第5回】
国際女性教育会館

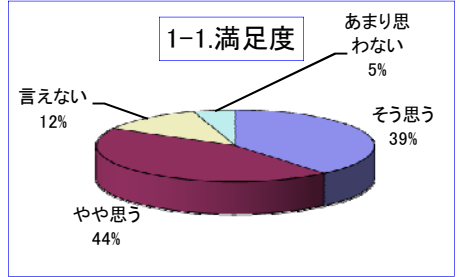
1. シンポジウムの満足度



1. シンポジウムの満足度



1. シンポジウムの満足度



昨年度より満足度が大幅に向上している。(76%)⇒(88%)

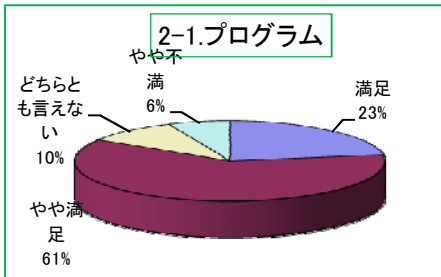
[満足]

- 1) セミナーとシンポジウムに分割したのが良かった。
- 2) TRIZおよび企業活動に関する多くの情報が得られた。
- 3) 自分の知らない適用分野や新しい流れなどの多くの情報を得ることが出来た。
- 4) TRIZだけではなく、目的を達成するために他の手法を使っている発表が多くなっているのがよいと感じました。

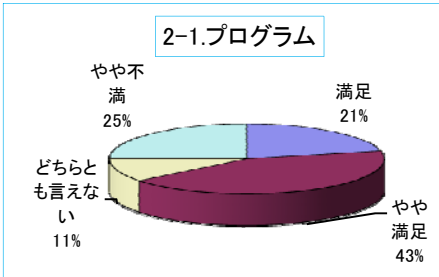
[不満]

- 1) 具体的な取組アプローチが少ない。
- 2) 木～土ではなく、水～金の開催が望ましい。

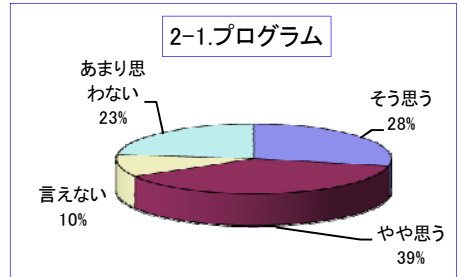
2. プログラムの満足度



2. プログラムの満足度



2. プログラムの満足度



「満足」「やや満足」を合わせて84%、昨年(64%)、一昨年(67%)より大幅に向上している。

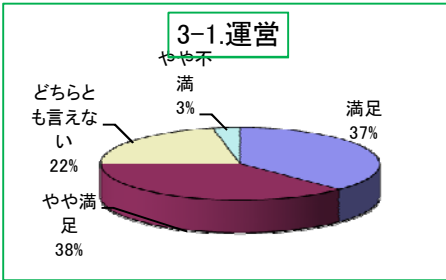
[満足]

- 1) 非常に多くの発表を聞くことが出来、良かった。
- 2) 手法のフル適用にこだわらず、要点・エッセンスを抽出して実施適用しようという発表内容が多かった点。
- 3) 皆さんの努力が感じられる。しかし、使われ方の進化が遅い。
- 4) 直接演者に質問でき、不明な点が明らかになった。

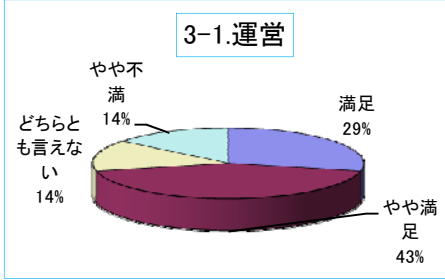
[不満]

- 1) 聞きたいセッションが重なった時が少しつらかった。
- 2) 例年同じメンバーの発表が多く、新しい発表が聞きたい。
- 3) ポスターどうしが近すぎて、声が聞き取りにくい時がありました。もう少し離れていれば良いのですが・・・。
- 4) ポスタ展示を全て聞けない点。見てわかるポスタにして、説明を短時間にできないでしょうか。

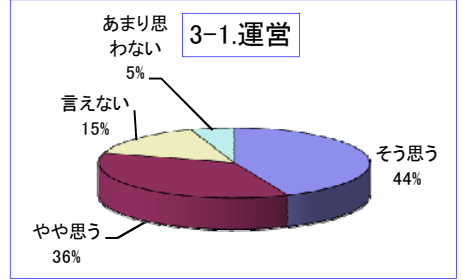
3. 運営



3. 運営



3. 運営



「満足」「やや満足」を合わせて75%で、昨年(72%)、一昨年(80%)とほぼ同レベル。

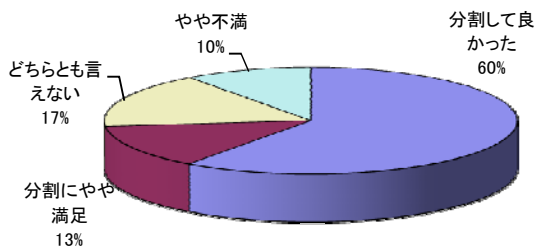
[満足]

- 1) 準備・運営がしっかりなされている。
- 2) 時間に余裕のある推進が来ている。
- 3) 時間厳守でたいへんスムーズな運営でした。

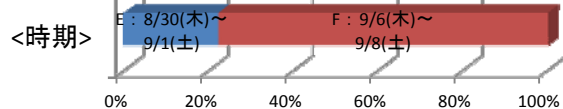
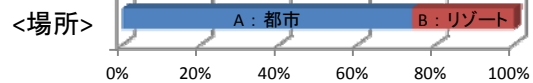
[不満]

- 1) 会場の配置図がなく、場所がわかりづらい。
- 2) 初日の受付が大変おそかった。手際が悪すぎる。準備はきちんとした方が良い。

3-4 セミナー(1日目)とシンポジウム(2&3日目)に分割したこと



3-5 来年の会場の希望



- ・ 今回のシンポジウムからで初めて行った、セミナー(1日目)とコンファレンス(2&3日目)の分割は好評であった。
- ・ 開催場所・形態は都市部で通える所の要望が多い。
- ・ 日程は9月初旬の希望が多い。

4. 協会への要望

- ・ 費用が高い。会員のメリットがわからない。
- ・ 参加費をもう少し安くなるとありがたいです
- ・ 協会のほとんどの活動が理事の方、あるいは重鎮?の方で進められているように思われます。経験の浅い方にも協力してもらえるような(もらうような)進め方をしてみんなで盛り上げるようなことはできないでしょうか。
- ・ より一層の他手法との融合。特にTOC弁証法である思考プロセスの「対立解消図」と分離原理・矛盾マトリクスとの関係

たくさんの皆様からの真摯なご意見を賜りありがとうございました。
今後も、ご意見を反映できますよう検討して参ります。

1 今回のシンポジウムの満足度について		
1-	1-2	1-3
5	参加者の方々と議論が深まったこと、特許の視点が多く入ったことに満足。MPV、KT法、等価変換の融合が進んだ点良かった。	0
5	0	具体的な取組アプローチが少ない
5	セミナーとシンポジウムに分割したのが良かった。	木～土ではなく、水～金の開催が望ましい。
5	事例や企業内での活用事例、知財戦略の話が興味深かった。	0
5	TRIZの実態が少しわかりました。	0
5	第一日目をセミナーとして独立させたので参加しやすくなった。	0
5	設備がよく充実しています。	0
5	TRIZおよび企業活動に関する多くの情報が得られた。	参加費が高い
5	日立、泉精器、オリンパスの事例発表が良かった。	海外事例発表の内容が乏しい。
5	アドバンスセミナーが勉強になった。	0
5	招待講演が大変興味深かった。	0
5	自分の知らない適用分野や新しい流れなどの多くの情報を得ることが出来た。	0
5	新しく参加の方々の発表にあらたな気付きも得られた。	夜の部の運営において、時間をくりあげてほしい。
4	(A)TRIZの推進者向け、(B)初心者向けにセッションの色分けを今後も明確にした方が発表内容がシャープになっていくと思われる。 (A)の人であっても「初心者に何を、どう説明したら、よりよいか？」という観点で(B)向のセッションの価値がある。	0
4	TRIZだけではなく、目的を達成するために他の手法を使っている発表が多くなっているのがよいと感じました。	・出席者が多くなるのを祈っています。 ・英語のトランスレーションがなかなかうまくいっていないような気がします。
4	1日目と2～3日目が明確に分かれていて参加しやすかった。	0
4	新しい情報が入ったので	特になし
4	大学の授業(実践型)や地域活動(企業の枠を超えた)、また震災を通してのTRIZの関わりなど、企業内実践・活動やコンサル活動だけでなく幅が大変広がってきたと感じるため。	0
4	大企業、中堅企業、大学それぞれの立場でのTRIZ活用、普及について発表があったこと。	0
4	基調講演は今までの中(～7回)で一番良かった。	0
4	TRIZの多面的なところを実感できた。	0
4	いくつかの気づきを得られたから	0
4	0	日常的問題を題材にした事例発表が多すぎる。
4	発表内容が手法論から実践論になってきた。	0
3	初日の夕方(夕食)からグループ討議に至る時間が間延びしたのは少し問題か・・・。	0
3	小西さんのチュートリアルはとても良かった。理解しやすく全体像もよくわかる。質問への回答も適切で勉強になった。物質・場分析:F,S1,S2のさんかくけいがなぜ完全システムと言えるのか？がわからなかった。 上村さんの迫力ある説明が良かった。全体像を伝えつつ、聞く側が期待を抱くような話し方は勉強になる。	資料(USB)について、昨年と同じだったが、プログラム一覧から個別ファイルにリンクするべきだ。論文一覧表からのみのリンクでは不便である。また、概要からスライドへのリンクも欲しい。日付が入っていない概要とスライドが多いが(フォーマットで欠落)いかなものか。日付は基本中の基本だと思う。リンク切れが多いようだが・・・。引用文献の明示がないものが多く、深く学ぶことができない。
3	ソフトウェアの紹介以外満足	ソフトウェアの紹介が専門すぎて、もう少し平滑な言葉でのプレゼンを願いたい。

2 プログラム編成について		
2-	2-2	2-3
5	発表内容がバラエティに富んでいた。 海外からの参加が少なかったので無駄な時間がなかった。	0
5	非常に多くの発表を聞くことが出来、良かった。	一点、どうしようもない点ですが、聞きたいセッションが重なった時が少しつらかった。
5	国内活動事例が充実していた。(日立グループさん 他)	0
5	2日間に集中できたので	0
5	一つの会場でポスター展示があったこと。	0
4	参考になることがたくさんあったから	紙の論文集において、プログラム一覧シートに各論文の掲載ページを載せてほしい。スペース的に苦しうだが、1日1ページにしても問題ないです。
4	手法のフル適用にこだわらず、要点・エッセンスを抽出して実施適用しようという発表内容が多かった点。	0
4	昨年も提案したが、品質工学大会のオーガナイズセッション形式にすれば、全員が全てのポスターを見ることが出来る。検討していただきたい。	0
4	ポスター説明3つ聞きたい。	0
4	いろいろな方々がTRIZを活用しようと頑張っておられること。	0
4	海外発表をもっと充実させて欲しい。	0
4	バラエティーに富んだ内容	例年同じメンバーの発表が多く、新しい発表が聞きたい。
4	皆さんの努力が感じられる。しかし、使われ方の進捗が遅い。	0
4	ポスター(隣の発表と干渉して聞き辛いことがあった) (前半と後半の切り替えがスムーズにできなかった例があつた)	0
4	複数テーマを聞くことが出来た。	0
4	自由に議論しやすかった。(スペースに余裕があった)	ポスターどうしが近すぎて、声が聞き取りにくい時がありました。もう少し離れていれば良いのですが…。
4	分野が多様でした。	0
4	ポスター展示は、同時にやると他が聞きにくいので、時間を短くして一つづつやる形式を検討されたらいかがでしょうか。	0
4	来年のシンポジウムの基調講演について、仏国のDenis Cavalluci教授(日本TRIZシンポジウムに参加したことがない)に講演してもらうことを提案します。方法論、新ツールについて講演できるはずですよ。	レーザポインタを準備しておくとういと感じました。
4	日立、オリンパスの企業事例があったから	0
4	直接演者に質問でき、不明な点が明らかになった。	0
4		0 ポスター展示を全て聞けない点。見てわかるポスターにして、説明を短時間にできないでしょうか。
3	新しい手法の開発や企業適用事例に関する発表が少なかった気がする。	0
2		0 絶対的に時間をもっと欲しい。ポスター発表のメリットであるQ&Aの時間がなかった。(発表20分、Q&A20分、入れ替え10分)
2		0 聴講テーマを選べるのは良いが、全てを聞けない点
0	日英両記は助かった	ポスターはA3ベースの方が見やすい。 テキストは無償で配布してほしい。(高い)

3 シンポジウムの運営について		
3-	3-2	3-3
5	質疑応答をシンポ後も行う。議論を深める場を設けている(例:研究会でテーマとする。)	0
5	なかなかおいしい食事でした。	0
5	準備・運営がしっかりなされている。	0
5		0
5	いろいろな点に、工夫や配慮が感じられました。ありがとうございました。	0
5	時間に余裕のある推進が出来ている。	0
5		0
5	時間厳守でたいへんスムーズな運営でした。	0
5		0
5		0
4	とりたてて大きな失態がなかったと思います。	スタッフの方はお忙しい中、準備を進められているので余り勝手なこととは言えませんが、少々段取りの悪さが目立ったようで
4		0 論文集で論文を捜しにくかった。発表の順に並んでいた方がわかりやすい。
4	交流会の時、親しい者どうしだけがたまらないように、くじびきで席(テーブル)を決めるなど、新しい工夫をしてみてもどうか。人脈の輪がより広がるのでは。等価変換理論の講演も良かった。TRIZのみならず想像力の源泉となる思考プロセスを学び交流すべきと思うので。(どちらが正しいとかいう議論はナンセンス)	0
4	直しかったと思います。	0
4	手弁当で活動されている方々に頭が下がります。	0
4	参加申し込みが複雑(日数、昼食、夕食、早割など)	0
4		0 会場の配置図がなく、場所がわかりづらい。
4	ほぼ時間通り、きっちり運営できていたのではないか	0
4		0
4		0
3		0 感覚的に面白い事例が減った気がする。
3		0
3	役員の皆様は滅私奉公で頑張っておられ大変ご苦労様でお疲れさまでした。	0
3		0 参加費を下げて、日程を2日にすることで参加者を増やしましょう。
2		0 初日の受付が大変おそかった。手際が悪すぎる。準備はきちんとした方が良い。

4 TRIZ協会について	
	毎年、貴重な情報交流の場を作ってください、ありがとうございます。
	費用が高い。会員のメリットがわからない。
	特に有りません。お世話さまでした。ありがとうございました。
	参加費をもう少し安くなるとありがたいです
	協会のほとんどの活動が理事の方、あるいは重鎮?の方で進められているように思われます。経験の浅い方にも協力しても頑張ってください、ありがたく思っています。
	各分科会の活動報告が欲しい。
	皆様ご苦労様でした。
	運営において手弁当で熱心な活動に感謝申し上げます。
	より一層の他手法との融合。特にTOC弁証法である思考プロセスの「対立解消図」と分離原理・矛盾マトリクスの関係
	ネームプレートの文字の大きさを大きくしていただけたら幸いです。
	いつも役員の皆様には大変ご苦労お掛けしており感謝しています。

